



令和7年(2025年)2月7日(金)  
(公財)広島平和文化センター  
平和首長会議運営課 永井、松尾  
電話：242-7821 内線 5802

## 「核兵器をなくす国際市民フォーラム」海外ゲスト一行が広島市長を訪問

この度、核兵器をなくす国際市民フォーラムの海外ゲストである次の4名が、「国際シンポジウム in 広島」に出席するため来広し、2月11日(火)に市長と面会されます。

### 1 訪問者（略歴は別紙のとおり）

ヒナメラ・クロス マオヒヌイ（仏領ポリネシア）国会議員

デイビッド・アニトック マーシャル諸島 国会議員

ダリル・キンボール 全米軍備管理協会（ACA）所長

ムハディ・スギオノ ガジャマダ大学国際関係学科 上級講師

### 2 本市関係日時（\*訪問時間、具体的な場所についての事前の報道は差し控えてください。）

2月11日（火）9:00- 9:20 市長表敬訪問（於：国際会議場3階応接室）

### 3 参考

- ・ 対応言語：英語（通訳あり）



## 訪問者略歴

 <p>Ms. Hinamoeura CROSS (ヒナメラ・クロス)</p>	<p><b>マオヒヌイ（仏領ポリネシア）国会議員</b></p> <p>太平洋におけるフランス核実験による白血病との個人的な闘いをきっかけに活動家に。2023年5月、仏領ポリネシア議会の議員に選出され、核兵器禁止条約を支持する全会一致決議を主導し、同地域にとって歴史的な瞬間の立役者となった。「非核の未来賞 2023」の受賞者として、ポリネシアと国際舞台の両方で、核被害者の権利を擁護し、フランス国家に説明責任を求める絶え間ないキャンペーンを展開している。核の遺産によって影響を受けた人々に対する認識、正義、そして医療的・金銭的な補償を求めると同時に、世界的な非核化を提唱している。</p>
 <p>Mr. David ANITOK (デイビッド・アニトック)</p>	<p><b>マーシャル諸島 国会議員</b></p> <p>マーシャル諸島アイルック環礁上院議員。2023年に Pacific Resources for Education &amp; Learning のコミュニティ・スクール・コーディネーターを務め、2017年から2023年まで COFA Alliance National Network of Washington のエグゼクティブ・ディレクター、2014年から2020年まで COFA Alliance National Network のディレクターの共同設立者・代表を務めた。</p>
 <p>Mr. Daryl Kimball (ダリル・キンボール)</p>	<p><b>全米軍備管理協会（ACA）所長</b> Executive Director of the Arms Control Association</p> <p>2001年9月より軍備管理協会（ACA）の所長。月刊誌『Arms Control Today』の編集及び執筆を担当。</p> <p>ACA では 20 年以上にわたり、新たな核兵器開発計画の中止、2010 年の新 START の交渉と批准、米印原子力協力協定への反対、2015 年のイランとの P5 +1 核協定の締結、包括的核実験禁止条約の発効促進と核不拡散条約の履行強化、2014 年の武器貿易条約の交渉、化学兵器に対するタブーの強化など、さまざまな問題についての教育、研究、政策提言の取組を主導してきた。</p>
 <p>Mr. Muhadi Sugiono (ムハディ・スギオノ)</p>	<p><b>ガジャマダ大学国際関係学科 上級講師</b></p> <p>インドネシア・ジョグジャカルタのガジャマダ大学国際関係学科で上級講師を務める。安全保障・平和研究、人道主義、地域政治に関心を持つ。科学のすばらしさは、人類のために大義を推進することにあるという信念の下、学問と活動を両立。特に東南アジアにおいて、平和、紛争解決、人権、人道外交を推進するために市民社会組織と積極的に関わってきた。2017年にノーベル賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）と共に、核軍縮に向けた世界的な運動に関わり始めたのは10年以上前。2013年、オスロでの第1回核兵器の非人道性に関する国際会議に参加。以来、核兵器禁止条約（TPNW）の採択に至るまで、また採択後も、ICANのキャンペーナーとして、国連内外のほとんどの会議に参加し、各国代表にTPNWへの支持を表明するよう働き掛けた。</p> <p>所属するガジャマダ大学国際研究所は2025年1月、ICANの国際運営グループに国際運営団体として加わった。</p>